

# 文芸欄



## 俳句

### 宝愛句らぶ(中央区)

風ぬるし大和の春の兆しかな  
 春寒し二度寝の心地夢ごこち  
 黄水仙首長コップに香を放つ  
 顔晴るる顔の輝き春立ちぬ  
 来し方を語りつ夫と雛飾る  
 春寒や行き交う老いの笑み優し  
 面接を終へて街路の春寒し

和子  
悦子  
千枝子  
静  
道子  
丘  
和志

### 梅の美会(兵庫区)

梅咲いてよき知らせ待つ祈りつつ  
 生足がいつそう長く春隣  
 パンジーや花だん管理はシニアの手

藤井 歌子  
山田 朝子  
栗野 富江

### 高原ささゆり会(北区)

篝火や水面の鶴たち健気なり  
 年とればジャーナーの法則節分会  
 鬼居るよ節分鯛あたま消ゆ  
 春泥やはずむ二人の靴の跡  
 踏んじやだめ蓄顔出す福寿草  
 村の辻櫻を愛でての長話し  
 寄り道は姫踊り子草の咲く空き地  
 キリギリス鼻水垂らし薪を割り

南 久美子  
笠井 照子  
尾崎 順子  
若林 節子  
佐藤かなめ  
松村二三枝  
中井 裕子  
佐藤伸二郎

### ひまわり句会(北区)

しみじみと老いたる手なり賀状かく  
 路のとうまだかまだかと待つ日々や

辻 寿賀子  
石井 敏子

### ひよどり台句会(北区)

軋みたる冷たき廊下納骨す  
 車窓への日差し背に受け春近し  
 白山の雪解の沼に座禅草  
 雪だるま連れ一番に登校す

金田美恵子  
塩見 光子  
田中 弘子  
中井 光子

春めきて庭師の鉢リズムよく  
 書初めの止めとはらいをくりかえし

矢谷登美子  
筒井 豊子

### 見山台新樹会(北区)

露味噌や酸も甘いも知る齡い  
 ものの芽やみなそれぞれにある素顔  
 夕小径手を振る友の冬帽子  
 午年の春に馬齢の孕寿かな  
 ふくら雀あまた静かに梅の枝

石本 宏一  
貞永 弘子  
松隈 弘子  
高石 勝行  
佐溝満喜子

### 五色山健寿会(垂水区)

寒行の朗々として遠ざかる  
 春立つや山柔らかに少女めく  
 如月の風まつすぐに海へ抜け  
 墨絵の世界久々に牡丹雪  
 吊革の手と手は白し浅き春  
 春立つや水切り石の八艘飛び

智子  
眞みこ  
波音  
くに子  
毬花  
淡峡

### 桃山台クラブ文芸部(垂水区)

十八の入試投票板挟み  
 やつと覗た西で輝くスノームーン

田畑美恵子  
大上 昭敏

### きらく句会(西区)

暮れる陽を余さずまとい実南天  
 どんど焼きふるまい求め長い列  
 退院を祝うが如し梅二輪  
 人の声満ち満ちて来る梅林  
 年男めでたく祝い感謝して  
 週一のヨガ教室は外は雪  
 敗残やお前もさうか恋の猫

森本 珠美  
阪本 道子  
喜田 弘征  
尾上 正紀  
伊藤貴美子  
栗崎 節子  
廣 常憲

### ◆個人

雪山や背に熱き技スケーター  
 冬ざるる石を積み上げ恐山

(灘) 福井 悦子  
(須) 福本 和恵



## 川柳

### 深江親交クラブ(東灘区)

血圧上昇小心者の春の旅  
 桜のピンク菜の花黄色は癒しカラー  
 指体操童心にかえってデイサービス  
 一寸待つてなかなか出来ぬ身仕度が  
 テレビ見て話しかける母の声  
 怒りの拳孕過ぎれば弱いグー  
 電車乗りみんな下向くスマホかな  
 目を醒す時計の針が真夜中だ  
 それ出来ぬ逃げる心に年数え  
 週いちパワー全開デイサービス

小田 節子  
辻本美佳子  
津田 正江  
東方 輝子  
林 芳一  
増田 芳之  
三島 茂子  
村瀬 武子  
森 和子  
森元 弘美

### 筑栄会(北区)

温暖化雪かきスコップ出番なし  
 宮大工指の先まで道具とな  
 もらえぬ子親がこっそりチョコ用意  
 姉さんと猪口でやりとりうぶな俺  
 いま散歩やがて徘徊この町で  
 有明の月と道連れウオーキング  
 ほめられて心ほんわかときめいて  
 ロウバイの香りほのかに春はすぐ

三茶  
菜々  
ポン  
かほう  
あきら  
せい  
まさこ  
かをる

### ◆個人

元旦の厄落としせず金おとす  
 うまい米風呂は薬湯マイライフ  
 セルフレジ見かねた人の助け舟  
 桜より先に嗅ぎたい釘煮の香

(東) 早川キミエ  
(北) 北野 利一  
(須) 久山 節子  
(垂) 小高 肇

## 短歌

### 高原ささゆり会(北区)

キミは誰?庭に降りくる雀にも  
 ママンの付けた名がきつとある  
 君といた何気ない日々懐かしく  
 写真の笑顔幸せの時間

中井 裕子  
箱守喜久子

### ◆個人

脳内に削除のボタンあるならば  
 あれこれ一寸押したい気分  
 山笑う色とりどりの花見山  
 貴方に見せてあげたくて  
 あの夏の十日ばかりを空き家借り  
 海辺のバカンス志摩の外海  
 和歌山へ賑やか笑顔バス二台  
 三社詣りは親睦深む

(須) 江口 啓子  
(須) 蔭山 宮子  
(西) 増田 當代  
(西) 吉野 洋子

### ◆投稿募集

文芸欄への投稿をお待ちしています。皆さまの作品をお寄せください。  
 作品、住所、電話番号、単位クラブ名、お名前を必ずご記入ください。

(投稿先)  
 〒650-00016  
 神戸市中央区橋通3丁目4-1  
 KOBEシニアクラブ事務局「広報紙〇〇係」  
 FAX 341-8524  
 ※〇〇は(俳句・短歌・川柳)等

### とっておきの作品



【中央区】生田新生クラブ  
 四井 汀花